



ごあいさつ



JR九州

九州旅客鉄道株式会社
代表取締役社長執行役員

古宮 洋二

平素より、JR九州をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

JR九州グループは、「安全とサービスを基盤として九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」を「あるべき姿」として掲げています。その中で、「誠実」「成長と進化」「地域を元気に」という3つの「おこない」を大切にしながら、「安全は、私たちの最大の使命である」という基本理念のもと、安全最優先の施策策定、目標達成への取り組みの推進、トレースと改善のPDCAサイクルを確固たる安全管理体制のもとで強力に推進しています。

2023年には、ゆるぎなき安全を実現するための新たな3カ年計画である「安全中期計画2023-2025」をスタートさせました。本計画では安全をつくる仕組みとして、以下の「安全の方程式」を示しています。

(知っている事 + 出来る事) × 熱意 = 安全

「安全の方程式」は、『安全をつくるのは知識や技能だけではない。熱意が「ゼロ」なら安全は「ゼロ」、熱意が2倍なら安全は2倍。それだけ「熱意」が重要である』ということを表しており、この仕組みを基本としながらゆるぎなき安全を実現するための取り組みを展開します。また、安全中期計画2023-2025では取り組みの新たな着眼点として『4つの「安全の見える化」と4つの「力」の強化』を示しています。2024年度からは、安全中期計画2023-2025の更なる深度化により、社員一人一人が自律性と責任感、そして納得感をもって取り組みを推進し、ゆるぎなき安全を確かなものへとしていきます。

社会経済活動の正常化が進む中、全ての原動力である熱い念い(おもい)を礎にJR九州らしさであるコミュニケーションを活性化させ、社員一人一人の「個の力」の最大化と、相互の繋がりの強化による「グループの総合力」の最大化に取り組み、新たな時代・激変する環境への強靱な対応と事業者としての成長と進化のために積極果敢な挑戦を続けてまいります。

2024年3月には、国内初のGOA2.5自動運転を開始し、並行してGOA2.0自動運転の実証運転を開始しました。踏切のある在来線での国内初の自動運転の実現は、まさに安全の方程式に示す熱意により結実したものです。少子高齢化の中での鉄道ネットワーク維持、乗務員不足等の困難へ正面から向き合い、新たな発想と新技術の活用により積極果敢な挑戦を続けてきたからこそ「今」があるのです。自動運転の実現は一例ですが、これからも私たちは挑戦を続けていきます。

今後も、皆さまのご理解とご協力を賜りながら「九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」として、駅と駅、街と街、人と人をつなげるネットワークによるにぎわいを創出し、安全で安心な鉄道の提供のために、JR九州グループ一丸となって尽力してまいります。

この報告書は、鉄道事業法第19条第4項に基づき、2023年度におけるJR九州グループの鉄道の安全への取り組みを、皆さまにご報告するものです。是非ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。